



路面電車を活用したまちづくりを考える 市民議論が始まっています

10月16日(土)・17日(日)に 市民会議を開催しました

無作為抽出した市民2,000人から参加者を募集し、その中から居住区・世代などを考慮して決定した26人の市民が、「路面電車の課題と可能性」をテーマに2日間の議論を行いました。

- 1 5～6人のグループに分かれ、「路面電車とのかかわり」や「路面電車の延伸は札幌のまちを元気にするのか」「路面電車の課題や解決策」などについて議論。
- 2 実際に路面電車に乗車し、車窓からの風景も見ながら意見交換を実施。
- 3 議論の結果をグループごとに発表。市民の目線や利用者の視点からの意見が数多く出ました。



こんな意見が

「路面電車の延伸にまちを元気にする可能性を感じる」という意見が多かった一方で、課題も出ました。

- すすきのからJR札幌駅までをつなぐと、商業地が一体化するなど都心部の回遊性が高まるのでは
- 利用者を増やすために、観光スポットや商業・公共施設をつなぐような路線選びを
- ループ化することに加え、ほかの公共交通機関と接続し、利便性を高めることが必要

- 利用者の増加など、採算性の向上へ向けた努力が必要
- 延伸する前に、現在の路線で低床車両を導入するなどして、効果を確認するべきでは
- 都心は地下鉄やバスなどが充実しているので、都心よりも桑園、創成川以東地域への延伸を優先すべきでは

100人規模の市民会議を開催します

無作為抽出した市民5,000人に会議の案内文を送付し、希望者の中から決定した100人による、大規模な市民会議を行います。10月に開催した市民会議の意見や、観光客・商業者などの視点を踏まえ、路面電車の課題と可能性について議論します。また、会議の1日目には、市民や団体の意見発表を聞く「オープンヒアリング」を行います。

- 日時**
- 11月28日(日) 午前10時～午後4時
 - ※オープンヒアリングは午後2時30分からを予定
 - 12月 5日(日) 午前10時～午後4時
 - 12月19日(日) 午後1時～4時

会場 STV北2条ビル(中央区北2西2) 6階会議室

会議は傍聴することができます。ただし、発言はできませんので、あらかじめご了承ください。

意見を発表する方を募集します

「オープンヒアリング」で路面電車に対する意見の発表を希望する方を10人程度募集します。発表時間は1人5分です。



申込封書、ファクス、Eメール。住所、氏名、年齢、電話番号、「発表希望」と明記し、発表内容を400字程度にまとめ、11月15日(月)(必着)までに都市交通課(〒060-8611中央区北1西2市役所内、ファクス218-5114、Eメールsogokotsu1@city.sapporo.jp)へ。抽選。

ご意見をお寄せください

札幌のまちづくりと路面電車の未来について、皆様のご意見をお寄せください。いただいたご意見は、100人規模の市民会議や今後の市の検討の参考にさせていただきます。

意見募集

はがき、ファクス、Eメールで受け付けます。住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、都市交通課(上記)へ